

市町による対策内容と実績 (美濃加茂市)

- 対策メニュー：** 建築高さ等の事前届出制度の創設
■実施状況： 平成25年4月から施行(平成28年3月末現在届出件数7件)
■課題等： ー

No.	施策名称	実施主体
3.6.1 1)	建築高さ等の事前届出制度の創設	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

家屋等を新築・改築する場合において、建築物の床高を規制して、集中豪雨時等に建築物の浸水被害の発生を防止する。

(2)内容

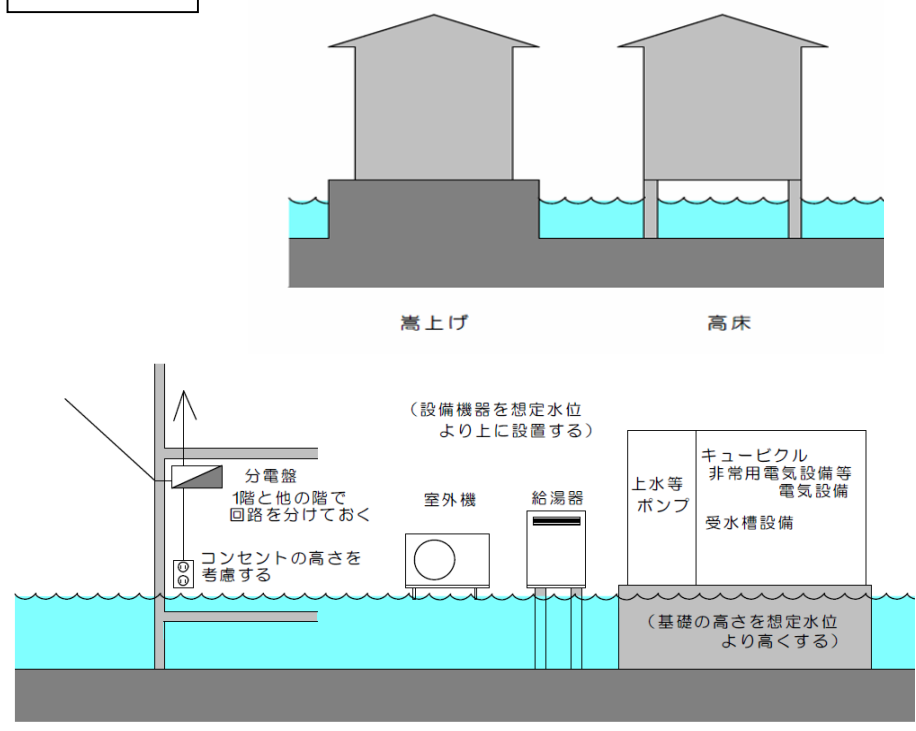
開発事業や建物の新築の際、口頭で開発事業主や建築主等に浸水の区域や高さの説明を行ってきたが、建築指導要綱を策定し、事前の届け出制度を取り入れ、建築物の床高(H=62m以上)を規制する。

(3)位置

加茂川町、草笛町及び深田町地内で浸水が予想される区域

(実施箇所 実施イメージ図)

イメージ図



(事業計画)

年 次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)
建築制限	アクションプログラム							平成25年4月から制度施行 市ホームページで公表中
	最新の実施状況							

- 対策メニュー： 浸水防止柵設置助成制度の創設
 ■実施状況： 平成25年11月に施行(平成28年3月末現在助成件数0件)
 ■課題等： —

No.	施策名称	実施主体
3.6.1 2)	浸水防止柵設置助成制度の創設	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

浸水が予想される区域内の既設住宅等に対して浸水被害を防止するために、浸水防止柵設置費用の経済的負担を軽減する。

(2)内容

浸水防止柵設置費用の一部を助成する。

(3)位置

加茂川町、草笛町及び深田町地内で浸水が予想される区域

(実施箇所 実施イメージ図)



平成26年8月1日号広報掲載

お知らせワイド

Information Wide

浸水危険区域内で実施する浸水対策工事に補助金を交付します

市では、草笛町、加茂川町および深田町地内の浸水危険区域において、建物の浸水被害を防止するために浸水対策工事を実施する場合に、工事費に対して補助金を交付します。

- 対象 浸水危険区域内で浸水対策工を行う建物の所有者で、市税の滞納をしていない人
- 対象工事 ①建物嵩上げ工事 ②浸水防止施設工事
- 補助金の額 ①建物嵩上げ工事 補助率1/2 限度額300万円
②浸水防止施設工事 補助率1/2 限度額 50万円
- 問い合わせ 都市計画課建築指導係 ☎内線252

(事業計画)

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
補助金制度	アクションプログラム							平成25年11月から制度施行 市ホームページで公表中	(百万円) 0.0
	最新の実施状況								

- 対策メニュー：既設住宅の嵩上げ工事助成制度の創設
 ■実施状況：平成25年11月に施行(平成28年3月末現在助成件数0件)
 ■課題等：－

No.	施策名称	実施主体
3.6.1 3)	既設住宅の嵩上げ工事助成制度の創設	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

浸水が予想される区域内の既設住宅等に対して浸水被害を防止するために、既設建物の嵩上げ工事の経済的負担を軽減する。

(2)内容

既設建物の嵩上げ工事費用の一部を助成する。

(3)位置

加茂川町、草笛町及び深田町地内で浸水が予想される区域

(実施箇所 実施イメージ図)



平成26年8月1日号広報掲載

お知らせワイド

Information Wide

浸水危険区域内で実施する浸水対策工事に補助金を交付します

市では、草笛町、加茂川町および深田町地内の浸水危険区域において、建物の浸水被害を防止するために浸水対策工事を実施する場合に、工事費に対して補助金を交付します。

- 対象 浸水危険区域内で浸水対策工を行う建物の所有者で、市税の滞納をしていない人
- 対象工事 ①建物嵩上げ工事 ②浸水防止施設工事
- 補助金の額 ①建物嵩上げ工事 補助率1/2 限度額300万円
②浸水防止施設工事 補助率1/2 限度額 50万円
- 問い合わせ 都市計画課建築指導係 ☎内線252

(事業計画)

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
補助金制度	アクションプログラム							平成25年11月から制度施行 市ホームページで公表中	(百万円) 0.0
	最新の実施状況								

- 対策メニュー：内水ハザードマップの作成・公表
- 実施状況：平成25年6月に各戸配布
- 課題等：国土交通省の支援により、最新データに基づいた新たなマップを更新して配布する。

No.	施策名称	実施主体
3.6.1 5)	内水ハザードマップの作成・公表	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

地域住民にわかりやすい浸水範囲・浸水深等の情報と、避難に関する情報(避難路・避難所等)を提供する。

(2)内容

内水の氾濫等の浸水情報および避難に関する情報を提供する内水ハザードマップを作成し、公表する。

(3)その他

全体図である親図と、当該地区をピックアップした地区詳細図である子図を作成、公表する。

子図は当該地区住民に配布し、ホームページで公開する。

(実施箇所 実施イメージ図)



(事業計画)

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
ハザードマップ作成・公表	アクションプログラム							国土交通省からの情報提供によりマップを更新する。	(百万円) 0.0
	最新の実施状況								

- 対策メニュー： まるごとまちごとハザードマップの作成公表
- 実施状況： 平成27年度に設置完了
- 課題等： —

No.	施策名称	実施主体
3.6.1 6)	まるごとまちごとハザードマップ作成公表	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

自らが生活する地域の洪水の危険性を実感できるよう、内水の氾濫等の浸水情報および避難に関する情報を住民にわかりやすく提供する。

(2)内容

実績浸水深標識の設置

(3)位置

加茂川浸水地域 10箇所

(実施箇所 実施イメージ図)



(事業計画)

年 次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
標識設置	アクションプログラム							平成27年度に10か所設置完了	—
	最新の実施予定								

- 対策メニュー：** 警戒避難体制の強化、災害図上訓練
■実施状況： 毎年防災訓練を実施
■課題等： 一

No.	施策名称	実施主体
3.6.1 7)	警戒避難体制の強化、 災害図上訓練	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

災害時の情報収集・伝達、指示系統、人員配置といった警戒避難体制の強化を行い、防災意識の向上を図る。

(2)内容

災害図上訓練
自治会指定避難場所への避難訓練
浸水区域からの避難誘導訓練
安否確認訓練
土のう訓練

(3)对象

太田地区自治会

(実施箇所 実施イメージ図)



(事業計画)

年 次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)
防災訓練	アクションプログラム							地区防災訓練を年1回実施
	最新の実施予定							

- 対策メニュー： 水位センサーの設置
- 実施状況： 平成28～29年度に水位センサー設置工事中
- 課題等： —

No.	施策名称	実施主体
3.6.1 8)	水位センサーの設置	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

リアルタイムな情報発信をすることにより、水防活動や避難時の判断基準に役立てる。

(2)内容

水位センサー
水位監視カメラ

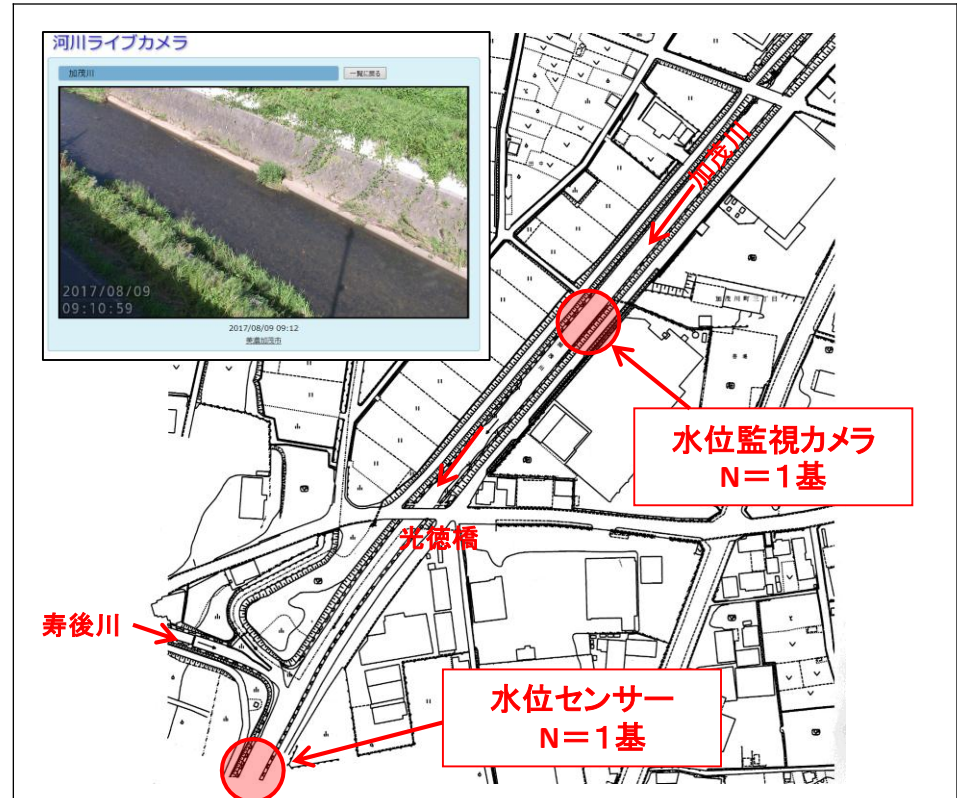
(3)位置

加茂川左岸・右岸 0.8km～1.05km

(4)施設規模

水位センサー N=1台
水位監視カメラ N=1台

(実施箇所 実施イメージ図)



(事業計画)

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
水位センサーの設置	アクションプログラム							平成28～29年度水位センサー(N=1台)設置中	(百万円)
	最新の実施予定								23.5

■ 対策メニュー：水位センサーの設置

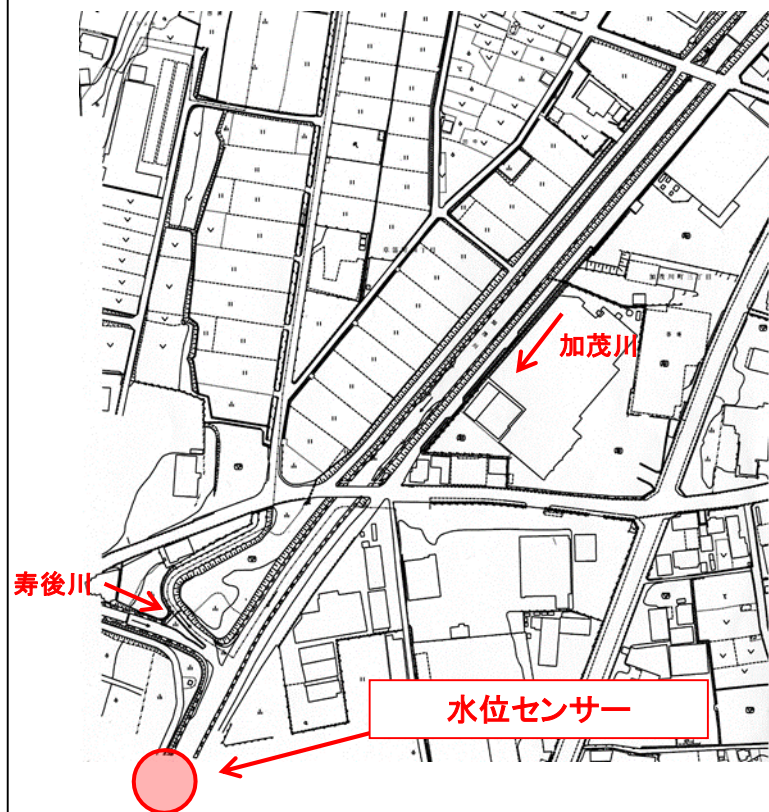
【実績】

(実績)

平成28～29年度 水位センサー設置

(平成29年11月末 完成予定)

本センサーで河川水位と流量の計測を行います。加茂川と寿後川との合流点より下流に設置することにより、加茂川排水機場に流入する水量の計測ができ、排水ポンプの起動判断に活用します。また、既存の水位センサーよりも下流部に設置することで、加茂川の増水傾向をこれまで以上に早く把握、予測することにより水防活動や避難勧告等の早期判断を可能にします。住民へは美濃加茂市ホームページでリアルタイムな情報を発信します。



完成予想図

- 対策メニュー：**メール、ツイッターによる情報提供
■実施状況：すぐメールみのかもにより情報配信
■課題等：－

No.	施策名称	実施主体
3.6.1 12)	メール、ツイッターによる情報提供	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

地域住民に迅速かつ的確な情報を提供する。

(2)内容

緊急情報、気象注意報・警報、河川水位情報、避難情報などをメール配信サービスを使い発信する。

(3)その他

平成29年8月末現在登録者数 9,792件

(実施箇所 実施イメージ図)



美濃加茂市では、市民の皆さんが安全で安心な生活を送ることができるように、緊急災害情報、防犯・防災情報、子育て情報、健康情報など、暮らしに直接結びつく情報をお手持ちの携帯電話にメールで配信するサービス「すぐメールみのかも」を4月1日からスタートしました。登録は無料ですので、ぜひ活用ください。

登錄資格

どなたでも登録できます。

※登録は無料ですが、利用登録や退会、メール受信にかかるパケット通信料や通信費は登録した人の負担となります。
登録案内の「利用規約」をご確認ください。

【平成25年度から平成29年度8月までの実績】

- 緊急災害情報(災害時の避難情報など) …16件
- 気象情報(気象庁の発表する警報情報、地震情報など) …60件

(事業計画)

年 次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)
メール配信	アクションプログラム							実施中
	最新の実施状況							

- 対策メニュー：土地開発行為の監視
 ■実施状況：農業関係者との情報交換を実施
 ■課題等：－

No.	施策名称	実施主体
3.6.1 17)	土地開発行為の監視	地域住民

(対策の具体目標)

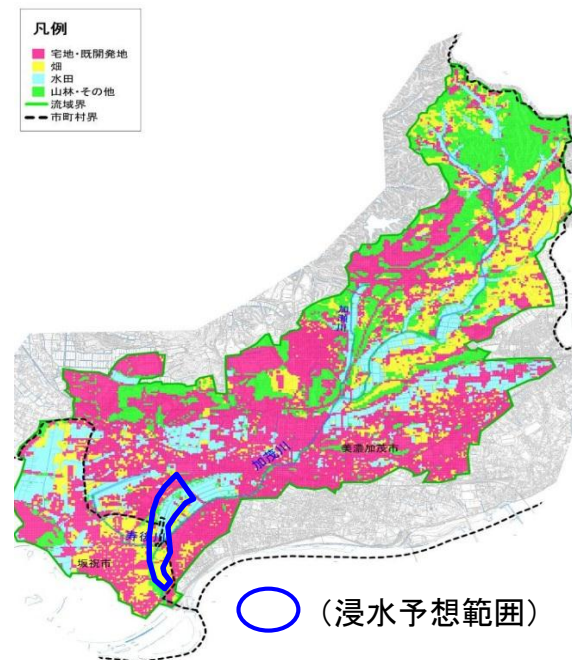
(1)目標

加茂川流域の浸水被害を抑制するため、土地の開発行為を監視する。

(2)内容

農業関係者をはじめ、地元住民と協働で防災の観点から土地利用を監視する。

(実施箇所 実施イメージ図)



(事業計画)

年 次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)
土地の監視	アクションプログラム							実施中
	最新の実施状況							

- 対策メニュー：貯留浸透施設の整備(各家庭)
■実施状況：実施中
■課題等：－

No.	施策名称	実施主体
3.6.2 1)	貯留浸透施設の整備 (各家庭)	地域住民

(対策の具体目標)

(1)目標

雨水の利用と地下浸透により、河川への流出抑制と地下水涵養を図る。

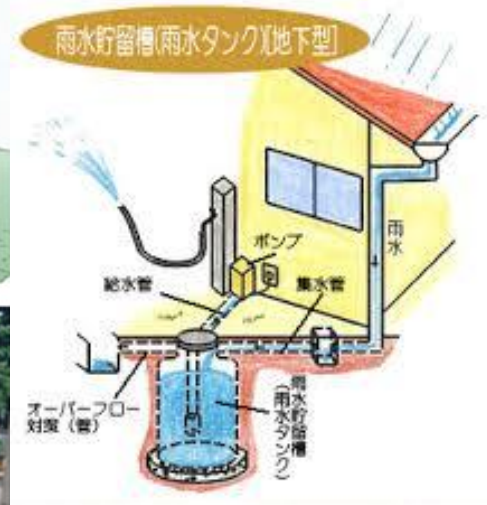
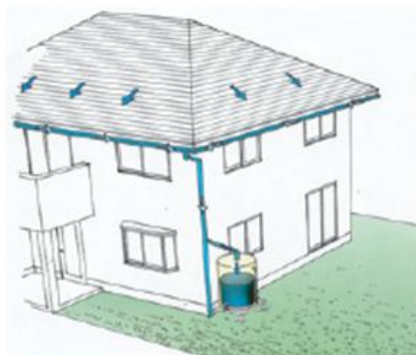
(2)内容

- ・下水道への接続時に不要となる浄化槽を雨水貯水施設に改造して、雨水の河川流出を抑制する。
- ・雨水樹を地下浸透機能を有するものに改造、または新設して、雨水の河川流出を抑制する。

(3)位置

市内全域

(実施箇所 実施イメージ図)



(事業計画)

年 次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)
貯留浸透施設の整備	アクションプログラム							実施中 方策3. 6. 2 3)に助成制度を創設
	最新の実施状況							

- 対策メニュー：貯留浸透施設の整備(校庭、公園等)
- 実施状況：平成29年度前平公園工事中
- 課題等：－

No.	施策名称	実施主体
3.6.2 2)	貯留浸透施設の整備 (校庭、公園等)	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

一時的に雨水を貯留させることにより、加茂川への雨水流出抑制を図る。

(2)内容

加茂川流域に位置する学校の校庭等を利用して、雨水貯留浸透施設を整備する。

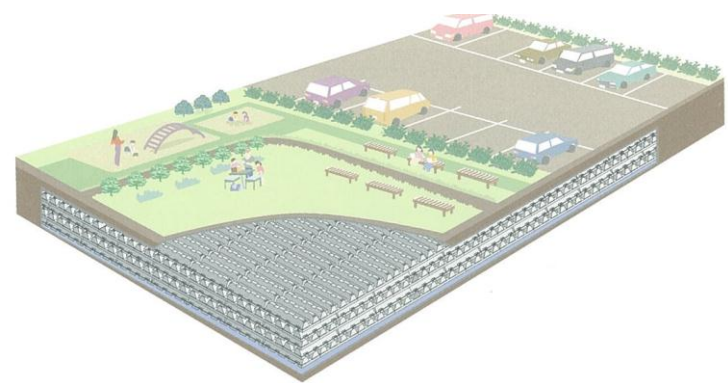
(3)位置

美濃加茂市西町1丁目 西中学校他5箇所

(4)施設規模

6箇所 合計面積48,500㎡

(実施箇所 実施イメージ図)



実施箇所	面積(㎡)
西中学校	15,500
山之上小学校	5,400
東総合グラウンド	7,800
西総合グラウンド	4,400
山手小学校	10,600
前平運動公園	4,800
計	48,500



(事業計画)

年 次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
貯留浸透施設の整備	アクションプログラム		西中	山之上小	東総合G	前平総合G	西総合G	平成28年度東総合運動場工事完了 平成29年度前平公園工事中	(百万円) 64.0
	最新の実施予定						山手小		

■対策メニュー：貯留浸透施設の整備(校庭、公園等)

【実績】

(実績)

平成26年度	西中学校	(表面貯留方式)	工事完了
平成27年度	山之上小学校	(地下貯留方式)	工事完了
平成28年度	東総合運動場	(地下貯留方式)	工事完了
平成29年度	前平公園	(表面貯留方式)	工事中
平成30年度	山手小学校	(地下貯留方式)	工事予定
	西総合運動場	(表面貯留方式)	工事予定

●平成29年7月14日(金) 西中学校の貯留状況

美濃加茂市 1時間降雨量 89.5mm(過去最大)

貯留水深:約20cm (設計:30cm)

貯留量:約1,590m³

- 対策メニュー：雨水流出抑制施設の設置助成制度の創設
- 実施状況：平成26年4月施行(平成29年3月末現在助成件数6件)
- 課題等：－

No.	施策名称	実施主体
3.6.2 3)	雨水流出抑制施設の設置助成制度の創設	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

流域内の家屋等を対象に、雨水タンクや浸透枳等の設置に要する費用の一部を助成する。

(2)内容

- ・下水道への接続時に不要となる浄化槽を雨水貯水施設に改造する費用の一部を助成する制度の創設
- ・雨水枳に地下浸透機能を有するものに改造または新設する費用の一部を助成する制度の創設

(3)位置

市内全域(浄化槽の改造費用助成対象者は下水道供用開始区域内とする。)

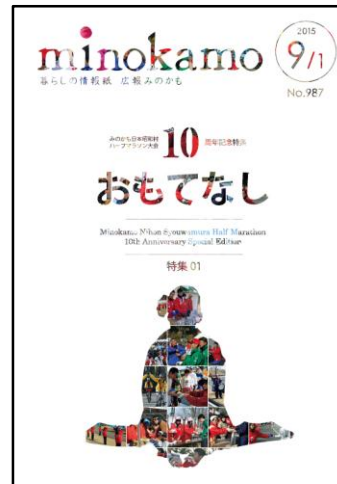
(4)施設規模

一般住宅の施設を対象とする。

(実施箇所 実施イメージ図)

平成26年6月1日号
広報掲載

平成27年9月1日号
広報再掲載



雨水貯留・浸透施設の設置にかかる費用の一部を助成します

雨水の再利用や地下水のかん養を促進するとともに、浸水被害の軽減や健全な水環境の保全を図るため、雨水を一時的に貯留または浸透するための施設を設置される場合に、その費用の一部を助成します。

- 対象 市内に土地や住宅などを所有または使用し、それらの土地や住宅などに雨水貯留浸透施設を設置しようとする人(個人、団体、法人など)

●補助対象施設と補助金額

補助対象施設	補助金の額
雨水貯留施設 浄化槽転用の雨水貯留槽 ※住宅等1棟につき1基まで	工事費の1/2 (上限80,000円)
雨水貯留施設 雨水簡易貯留施設 ※住宅等1棟につき1基まで (貯留能力が80リットル以上のもの)	材料費の1/2 (上限20,000円)
雨水浸透施設 雨水浸透ます ※住宅等1棟につき2基まで (浸透孔を有するもの)	工事費の1/2 (上限20,000円) ※2基設置する場合は、 2基の合計額)

※浄化槽転用の雨水貯留槽は、下水道への接続に合わせて施工してください

※雨水浸透ますは、急傾斜地などの条件下では設置できない場合があります

※補助金の申請をし、交付決定がされた後に工事を着工(材料の購入を含む)してください

●申込 上下水道課にある申請書に必要事項を記入し、申請に必要な書類を添えて上下水道課へ

※申請書は市ホームページからもダウンロードできます

☎上下水道課お客さま係 ☎内線323

(事業計画)

年次	H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
貯留浸透施設の整備							平成26年4月制度施行 市ホームページ公表中	(百万円)
最新の実施状況								0.0

- 対策メニュー：**土地開発事業指導要綱による土地利用規制の強化
■実施状況：平成27年4月施行「美濃加茂市開発事業に関する条例」
■課題等：一

No.	施策名称	実施主体
3.6.2 4)	土地開発事業指導要綱による土地利用規制の強化	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

加茂川流域内の開発事業について、土地利用の制限や注意喚起、情報提供を行い加茂川下流域の建物等の浸水被害の発生を防止して被害を最小限にとどめる。

(2)内容

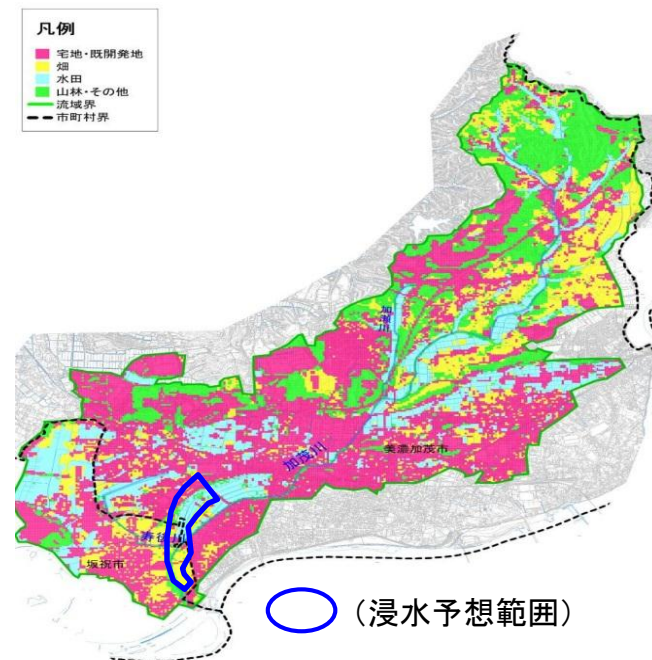
開発指導要綱により、流出抑制を促す。

- 1,000㎡～3,000㎡未満の開発
 - …透水性舗装、雨水浸透ますの設置指導
- 3,000㎡以上の開発
 - …調整池の設置を義務付け

(3)位置

加茂川流域内の開発事業を対象

(実施箇所 実施イメージ図)



(事業計画)

年 次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)
開発指導要綱の見直し	アクションプログラム							平成27年4月条例施行
	最新の実施状況							

- 対策メニュー：下水道樋管への逆流防止ゲートの設置
- 実施状況：平成25年度2箇所工事完了
- 課題等：－

No.	施策名称	実施主体
3.6.3 2)	逆流防止ゲートの設置	美濃加茂市

(対策の具体目標)

(1)目標

洪水時において、加茂川からの水が下水道樋管を通じて流域に逆流することを防止する。

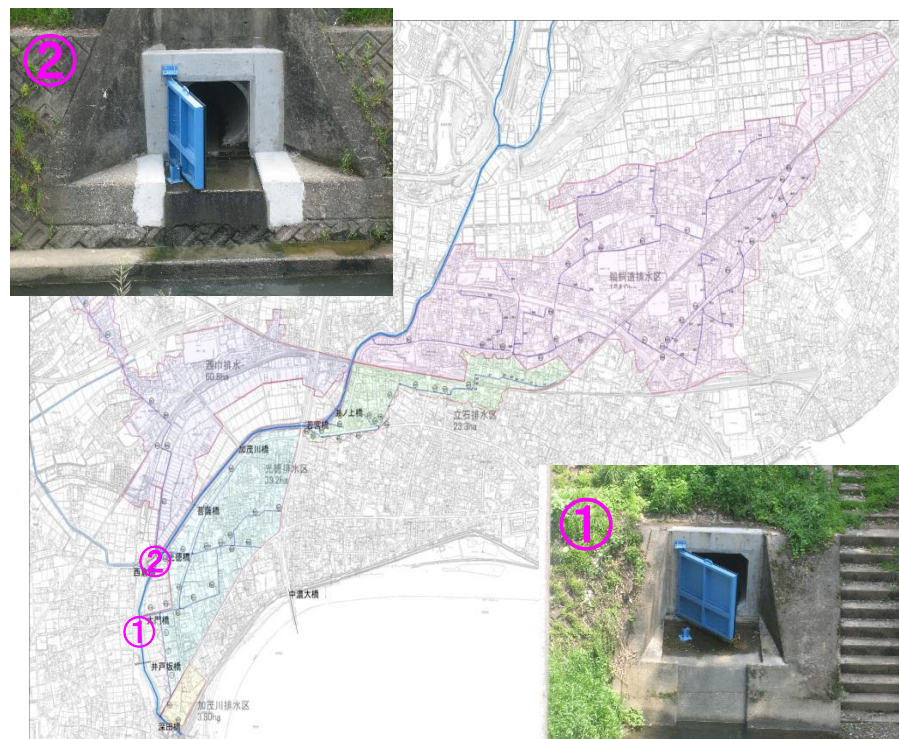
(2)内容

逆流防止ゲートの設置

(3)位置

- ①坂祝町酒倉深田2丁目(大門橋下流左岸)
- ②坂祝町酒倉深田3丁目(光徳橋下流左岸)

(実施箇所 実施イメージ図)



(事業計画)

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
逆流防止ゲートの設置	アクションプログラム							平成25年度 2箇所工事完了	－
	最新の実施状況								